

令和6年度モニタリング委員会における委員からの主な質問に対する業務進捗状況

○第2回委員会資料質問回答より

No.	昨年度委員会における委員からの質問	昨年度委員会における運営権者の回答 (令和6年8月時点)	業務進捗状況
1	整備済みの栈橋について、今後の活用見込みを教えて欲しい。	現在は、イベント毎のチャーター便での利用がメインですが、ニーズがあれば定期船を受け入れる準備を整えております。また、足漕ぎ SUP・カヤックなどの実証実験を実施しており、海上アクティビティの拠点としての可能性も模索しております。	有明アーバンスポーツパーク方面の開発も進んできているため、SUP・カヤックなどの利用を本格的に行うべく調整中です。夏ごろには体験会の実施を検討しています。
2	自動販売機の増設以外の熱中症対策はあるか。施設来館者の中で熱中症による体調不良者は出ていないか、出ていた場合、どのような対応を行ったか教えて欲しい。	主催者に対し、スポットクーラーのレンタルを実施しています。体調不良者は主催者手配の看護師管理の元、救護室で休憩してもらい、なお具合が悪い場合は救急車の手配を行っています。	昨年度同様の運用を継続しています。新たに、主催者に対して来場者滞留場所にテントを設置するよう働きかけています。
3	各公式 SNS の登録者数、フォロワー数、閲覧数などのデータとその目標値、目標に対する達成度などについて教えて欲しい。	ジムの SNS について、令和6年6月末時点での各登録者数等は以下となります。 ① LINE…友だち登録数 436 名 ② インスタグラム…フォロワー376 名 ③ X …フォロワー303 名 閲覧数は、200～8,000 回程度となっております。各 SNS で1,000 フォロワーを目指しており、現状のフォロワー数で都度利用者が月 500～ 600 名ですので、1,000 フォロワーで月 800 ～900 名の都度利用者のご来場を見込めると考えております。レストランの SNS について、令和6年6月末時点で X のフォロワー数は 470 名となります。閲覧数はコンサートに応じて、2,000～20,000 回程度と幅広くなっております。フォロワー数の目標値は定めておりませんが、アーティストによる告知もあり、令和6年1月時点では250名だったフォロワー数が半年で約2倍となるなど堅調に伸びています。	ジムの SNS について、令和7年5月末時点での各登録者数等は以下となります。 ① LINE…友だち登録数 517 名 ② インスタグラム…フォロワー526 名 ③ X …フォロワー388 名 自主事業等積極的に実施し、地域コミュニティの形成に努めていますが、目標の 1,000 フォロワーに及ばず昨年度からあまり伸びていない状況です。 レストランの SNS について、令和7年5月時点で X のフォロワー数 670 名となります。閲覧数は引き続きイベントによってかなり波がある状況です。

No.	昨年度委員会における委員からの質問	昨年度委員会における運営権者の回答 (令和6年8月時点)	業務進捗状況
4	大規模スポーツ大会17大会の利用日数は何日か。大規模スポーツ大会について、毎年本施設で開催しようと思っている競技や新しく誘致を検討している競技があれば教えて欲しい。	大規模スポーツ大会の利用日数（準備日含む）は57日となっています。バスケットボール（Bリーグ）などの継続誘致と、新規でバレーボール（Vリーグ）、体操なども利用に向けた協議を行っています。	令和6年度は大規模スポーツ大会10大会31日実施しました。東京2020大会のレガシーとしてバレーボールの誘致に力を入れてきました。 ・令和6年11月にサントリーサンバース vs 東京グレートベアーズのSVリーグ公式戦開催 ・令和7年5月SVリーグ初年度ファイナル誘致成功 ・令和7年9月にバレーボール男子代表国際試合及び10月にサントリーサンバース vs ペルージャ（イタリアセリエA）の親善試合誘致成功
5	来館者へのアンケート方法について、来館者に対してHP上でアンケートを実施しているが、これは来館時にその場でHPに記入してもらっているものか。また、来館時のイベントにもよると思うが、イベントごとの分析はされているか。回答数が少ない気がするが、どのくらいの回答数を目標としているか。	アンケートの運用について、有明アリーナのHPより随時回答いただけるようにしています。よって、地域住民など有明アリーナに直接来館していない方からの意見等も収集可能な運用としております。アンケート結果について、イベントの区分に起因した傾向のようなものは見受けられませんが、毎月のモニタリング委員会で、自由回答の集計結果を関係者間で確認・共有し、適宜運営・維持管理業務へ反映するとともに、具体的なイベントが特定できるものについては、内容に応じて主催者へのフィードバックを実施しています。 回答数について、本アンケートはイベント内容ではなく、有明アリーナの管理運営へのフィードバックを目的としたものであるため、イベント来館者全員へ回答を依頼していないこともあり、回答数は減少しております。回答数の具体的な目標値は定めておりませんが、各主催者への負担を増加させないため、都民開放DAYなど有明アリーナの自主事業に参加いただいた来館者には、アンケート協力の周知を行っていきたいと考えております。	HP上でのアンケート、地域住民の有明アリーナへの意見集計は続けています。 自主事業でのアンケートについては令和6年度については実施していませんが、令和7年度に実施を検討しています。